2026年11月13日　No.1502

A weekly letter

A DAY



株式会社　上坂経営センター
TEL　0776-36-8180
FAX　0776-36-8245
URL　https://www.uesaka.ne.jp
Mail　uesaka-t@mitene.or.jp

論説主幹　公認会計士　上坂朋宏

■夢は、いつ生まれるのでしょうか？

今月の月刊『致知』11月号の特集は、「夢なき者に成功なし」でした。上坂会計グループでは、毎月、全ドリーマーに課題の記事を読んでもらい、感想を書いてもらっています。そして、“木鶏会”を開催し、互いの感想を発表し合っています。私も、毎月、全員の感想を読ませてもらい、コメントをしています。

今回、その感想を読んでいて、少し考えさせられたことがありました。何人かのドリーマーが「夢という言葉が苦手なんです。」「夢は持たなければいけないのでしょうか」と書かれていました。

実は、私は、これまでも何度となく、このような質問を受けてきました。そのたびに、**「夢がないのなら、今をもっと精一杯生きればいいのでは？」**と答えてきました。今も、そのように考えています。

ただ、今回の『致知』を読み、ドリーマー達全員の感想に触れながら、もう少し深く考えてみました。

■夢が生まれるのはいつ？

そもそも、夢というものは、いつ、どのようにして生まれるのでしょうか。今回の『致知』に登場する方々の人生を振り返ってみると、**夢が生まれる過程には、大きく三つあるように思いました。**

一つは、最初から夢や志を持ち、その実現に向かって努力する人です。こうなりたい、こんなことを実現したいという強い思いが先にあり、それに向かって人生を切り拓いていく人です。

二つ目は、目の前のことに一生懸命取り組むなかで、夢が生まれてくる人です。最初から明確な目標があるわけではありません。しかし、日々の仕事や経験を積み重ねるうちに、もっとこうしたい、こんなことができるようになりたいという思いが育っていくのです。

そして**三つ目は、人との出会いによって夢が生まれる人**です。誰かの生き方に感動したり、尊敬する人の言葉に心を動かされたり、あるいは、誰かの役に立ちたいという思いから、自分の進むべき道が見えてくるのです。

もちろん、人の人生をこの三つに簡単に分けられるものではなく、これらが重なり合いながら、夢が育っていくのだと思います。

今回の対談に登場した浅川智恵子氏は、視力を失ったことによる日常生活の不便さを、技術によって解決しようとされました。その挑戦は、やがて多くの視覚障害者の生活を支える研究へと発展していきます。ここに、**目の前の課題に向き合うことから生まれる夢の姿**を見るのです。

また、橋本志津氏は、**ご主人との出会いによって、その壮大な夢に触れ、共に歩む人生を選ばれました。**夢というものは、自分一人の中から生まれるものばかりではないよい例だと思います。人の夢に共感し、その夢を自分の夢として育てていくこともあるのです。

山口絵理子氏も、**バングラデシュで出会った人々の暮らしや声から、現地に仕事を生み出すという道を見つけられました。**そして、行動するなかで、また新しい夢が生まれていきました。

これらの方の人生に触れると、夢というものは、**最初から完成された形で存在している必要はない**のだと思えてきます。

そして、私が特に心に残ったのは、吉岡秀人氏の、**目の前の山を全力で登ることで、次の景色が見えてくるという趣旨**のお話でした。これは、私がこれまで「夢がないのなら、今を精一杯生きなさい」と話してきたことに、通じるものがあります。山の麓にいる時には、山の向こうに何があるのか分かりません。しかし、一歩一歩、目の前の山を登っていくと、今まで見えなかった景色が見えてきます。そして、その景色を見た時に、次に登ってみたい山が見つかるのではないでしょうか？

※上記の方達は、検索すると皆さん出てきます。

そして、人生も同じではないでしょうか。

今、自分に夢がないからといって、焦る必要はありません。**今の仕事に誠実に向き合い、できなかったことができるようになり、お客様から感謝され、仲間から頼りにされる。そんな日々を積み重ねるなかで、自分が大切にしたいものが少しずつ見えてくる**のだと思います。

もっとも、夢という言葉を、あまり大きく考える必要もないのかもしれません。社会を変えたい、大きな事業を成し遂げたいということだけが夢ではありません。

家族と幸せに暮らしたい。お客様から信頼される人になりたい。後輩に頼られる先輩になりたい。昨日の自分より少しでも成長したい。これらも立派な夢ですよね。

夢とは、何を成し遂げたいかということだけではなく、どのような人間になりたいか、どのような人生を送りたいか、ということでもあるのだと思います。

■上坂会計グループのミッションは、「夢を育み、実現する」

このミッションの中で、特に大切なのが「育み」という言葉です。もし、「夢を持ち、実現する」というミッションであれば、夢を持っていることが出発点になります。しかし、私たちのミッションは「夢を育み、実現する」なのです。**育むということは、まだ小さな芽であっても、それを大切にし、時間をかけて成長させていく**ということだと思います。

まだ夢が見つかっていない人もいるでしょう。自分が何をしたいのか、分からない人もいるでしょう。それでもいいのです。**日々の仕事や人との出会いを通じて、小さな関心や喜びが生まれ、それが少しずつ育っていく。その過程そのものを大切にしたい**と思うのです。

今日という一日を大切にしてください。目の前の仕事に誠実に向き合ってください。そして、さまざまな人との出会いを大切にしてください。その積み重ねの中で、いつの日か、自分でも思いもしなかった夢が生まれるかもしれません。そんな一人ひとりの生き方を大切にしながら、共に成長できる自分でありたい。会社でありたいと思っています。

夢があるから、今を精一杯生きる。そして、今を精一杯生きるから、夢が生まれる。
「夢を育み、実現する」

皆さんには、どんな夢がありますか？